2026 年 6 月 19 日 第 3554 回例会

於： 横須賀商工会議所

よいことのために手を取りあおう Rotary

＜点鐘・開会＞ １２：３０ 山 下 会長
＜斉　　唱＞ 「それでこそロータリー」
＜ゲスト紹介＞ ＊株式会社日建都市開発 代表取締役 山 下 和 志 様
＜会 長 報 告＞ ＊台北国際大会報告
＜幹 事 報 告＞ ＊ガバナー月信 No. １２
＊例会終了後第１２回理事役員会 開催
＜出 席 報 告＞ ＊加賀本副委員長から６月１９日の出席報告

会 員 数	出席対象者数	出席数(ZOOM 出席数)	欠 席 数	ﾒｰｸｱｯﾌﾟ数	出 席 率
１１０名	９６名	６０名(２名)	３６名	２名	64. 58%

メークアップ：齋藤(秀)会員 神奈川東ＲＣ例会出席　　前田会員 地区委員会出席

＜ニコニコ報告＞

・加賀本、苅 山 両会員 入会月祝いとして
・三　　役 今年度、商工会議所での最後の例会です。各委員長からの年度報告どうぞ宜しくお願いします。
・大野㈱、石 田、松本㈱、瀬 戸、加藤㈱、角 井、
濱 田、権 田、八 巻、齋藤㈱、長 尾、髙橋㈱ 各会員
本日は第４回クラブ協議会年度報告です。一年間お世話になりました。本日は宜しくお願いいたします。
・八 木、植 田、椿、小山㈱、堀 川、梶 木、小 澤、井 上、
波 島、佐久間、澤 田、杉 浦、梁 井、加賀本、飯塚㈱ 各会員
本日は第４回クラブ協議会、年度報告です。三役、理事、各委員長の皆様、１年間お世話になりありがとうございました。報告もよろしくお願いいたします。
・八 木、植 田、苅 山、真 野、野 坂、小山㈱、兼 城、
江 口、吉 住、瀬 戸、田 邉、波 島、濱 田、石 川、
齋藤㈱、池 田、髙橋㈱、笠 木、三 堀、加賀本、物 井 各会員
「住よし」さん、今年度も毎週毎週美味しいお昼ご飯をありがとうございました。少ない予算でいつも無理を言ってすみません。松本明弘会員、従業員の皆様、また来月からもよろしくお願いいたします。
・木 村、濱 田、齋藤㈱、柴 田、齋藤㈱、小林㈲、比 護 各会員
衣笠山科台近くの土地に川崎競馬組合「トレーニングセンター」が移転候補地として打診されたようです。浦郷町は無人水上艇の量産拠点になるなど、浦賀地域に引き続き活気あるニュースでこれからの横須賀が楽しみですね。
・徳 永 会員 今日のタウンニュース逗子・葉山版に当クラブ会員の大神岩﨑会員と司法書士小保内会員のご活躍の記事が出ていました。お疲れ様でした。
・小林㈱)会員 山下さん残り１回ですね。

＜卓　　話＞　　**クラブ協議会【年度報告】**

１．山下 和男 会長

今年度も残すところわずかとなりました。この一年を振り返り、まずは理事・役員の皆様、各委員長、そして会員の皆様に心より感謝申し上げます。今年度も、各委員会を中心に多くの事業を実施することができ

ました。その中でも特筆すべきものとして、ネパール・チトワンロータリークラブとの国際奉仕事業が挙げられます。この事業を通じて、横須賀ロータリークラブとして国際奉仕にしっかりと取り組むことができました。また一方で、国内における奉仕事業についても、各委員会の皆様のご尽力により着実に実施することができ、国際奉仕と国内奉仕の双方をバランスよく進めることができた一年であったと感じております。
私が会長就任にあたり目指したことの一つは、理事会の民主的な運営でした。会長が提案し、理事会が追認するだけではなく、理事一人ひとりがクラブ運営に責任を持ち、それぞれの立場から自由に意見を述べ、議論を重ねながら方向性を決定していく。そのような理事会にしたいと考えておりました。その結果、今年度の理事会では大変活発な議論が行われました。会長提案議案が２件否決され、また１件は修正のうえ承認されました。一般的には会長提案が否決されることをマイナスに捉える見方もあるかもしれません。しかし私は、そのことをむしろ誇りに思っております。なぜなら、それは理事の皆様が単に賛成するのではなく、クラブに対する責任を持って真剣に議案を検討し、自らの判断を示してくださった結果だからです。また、今年度はもう一つ、理事の皆様にそれぞれの担当委員会の事業進捗を確認し、必要に応じて委員会活動を後押ししていただく、そのような理事会運営も目指しておりました。理事会が単に議案を審議する場にとどまらず、各委員会の活動状況を把握し、クラブ全体の事業を前に進める役割を果たすことが理想だと考えていたからです。しかし、この点については、私自身の進め方や声かけが十分ではなく、思い描いたほどには実現できませんでした。これは今年度の反省点であります。また、今年度は、クラブ内の事業だけでなく、地区との関係においても、会長として判断を求められる場面が少なくありませんでした。本来であれば、クラブ運営と奉仕事業に専念したいところでありましたが、外部的な事情により、説明や調整に多くの時間と労力を要することもございました。だからこそ、重要な事項については理事会だけで決定するのではなく、会員の皆様にも直接状況をご説明し、クラブ全体として判断する機会が必要であると考えました。その結果として、今年度はクラブ総会を２回開催いたしました。準備や運営には多くのご負担をおかけしましたが、横須賀ロータリークラブとして、透明性を保ち、品位と自主性を失わずに対応するうえで、大変意義のある機会であったと感じております。創立７５周年という節目の年度に、このような運営ができたのは、理事・役員の皆様、各委員長、そして会員の皆様のご理解とご協力があったからこそです。私はこの一年を通じて、横須賀ロータリークラブの最大の強みは、会員一人ひとりがクラブをより良くしたいという思いを持ち、それぞれの立場で責任を果たしてくださることにあると改めて実感いたしました。会長として至らぬ点も多々あったと思いますが、皆様に支えられながらここまで務めることができましたことを心より感謝申し上げます。任期終了まであとわずかとなりますが、最後まで責任を持って職務を全うしてまいります。一年間、本当にありがとうございました。

２．鈴木　孝博　副会長

今年度は、山下会長の大きな方針である、「ＤＥＩ（多様性・公平性・包括性）」を組織運営の土台に据え、多様な会員が互いに個性を活かし合える環境づくりを目指してきました。様々な行事や例会の開催にあたり、会長・幹事を微力ながら支える事が出来、胸をなでおろしています。大きな事業としては、国際奉仕活動におけるネパール給水プロジェクトを実行できた事、ロータリークラブとは何かを改めて振り返る大変貴重な経験となりました。事務局の三宅さん、比護ＳＡＡ、椿副ＳＡＡ、各カウンセラー、委員長、そして会員の皆様には、多大なる、ご協力を賜り感謝申し上げます。１年間、本当に有難うございました。

３．会計　鷲尾　精一　会員

収入につきましては、概ね当初の予定どおりに推移しております。また、「ニコニコ」につきましても、皆様のお力添えにより順調に集まっておりますが、前年同時期と比較すると若干の減少となっております。これは例会開催数の違いによるものであり、収入全体としては例年並みの水準を維持していると考えております。一方、支出につきましては、各委員会において充実した活動を展開しながらも、適切に経費を抑制していただいており、当初予算に近い水準で推移しておりますことをご報告申し上げます。なお、最終決算につきましては、最終例会終了後に会計監査を実施したうえで、改めて皆様にご報告させていただきます。

４，ＳＡＡ　比護　友一　会員

年度当初に掲げた計画について一年間を振り返りご報告申し上げます。活動計画書には主に品位と秩序を保ち､和やかで楽しい雰囲気の中にも格式のある例会作り､楽しい歓談の場になるようなテーブルの席割り、快くご寄付いただけるようなニコニコボックスについて挙げさせていただきました。例会の運営にあたっては、親睦活動委員会、会報委員会、デジタル委員会の皆さま、そして事務局の三宅さんに多大なるご協力をいただきました。とくに椿副ＳＡＡには、常に安心して任せられる存在として支えていただき心より感謝申し上げます。ニコニコにつきましては、現時点では、今年度の目標額３５０万円に対し、６月１２日、現在で3, 148, 630円と目標を達成しました｡最近の出席率の低さや､今年度の例会数が少ないことを考えますと、皆さまには十分すぎるほどの温かいご厚意を頂いており､心より感謝申し上げます｡残すところあと１回 となりましたが、引き続き、笑顔になれるようなメッセージをお寄せいただけましたら幸いです。

私は多くのテーブルミーティングには参加をさせて頂きました。開催にご尽力頂いたマスター、サブマスターの皆様には本当に感謝いたします。参加したテーブルミーティングは全て楽しい時間でした。次年度は椿ＳＡＡ、権田副ＳＡＡへとバトンをお渡しいたします。今後とも変わらぬご支援、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。副ＳＡＡを含めると２年間、本当に貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。

５．会報委員会　石田　裕樹　委員長

一年間を通しまして､委員の皆さま､事務局の三宅さんのご協力により､会報を順調に発行できました｡ありがとうございました。また、報告、発表をされる各会員の皆様にも原稿提出のご協力を頂き大変助かりました。ありがとうございました。会報作成の負担軽減のため、１年間、すべての例会を統一フォーマットでデータ化致しました。こちらを次年度、井上委員長に引き継がせて頂きます。次年度以降も会員皆様方のご協力を宜しくお願い致します。

６，雑誌委員会　濱田　恵里　委員長

基本的に毎月第一例会にて「ロータリーの友」のご紹介をしている雑誌委員会です。「ロータリーの友」は興味深い内容が多く、短い時間でのご紹介には限度がありお伝えしたい事が上手にできたかは不安ですが、江口副委員長との持ち回りで二人の違う観点からのご報告をさせて頂きました。ＲＩ会長のメッセージや指定記事ではロータリーを知るのに役立つ事が載っていて、縦組の記事は知らなかった事やホッとする内容が書かれていて面白いので、これからも「ロータリーの友」を時間のあるときではなく時間を作って読んでいただければ幸いです。一年間ありがとうございました。

７，出席委員会　森　勇人　委員長

今年度の出席委員会は、浅葉会員、加賀本会員の多忙なメンバーでしたが、分担して今日を迎えることが出来ました。この一年間、会員の皆様には出席率の向上にご協力いただき、また事務局の三宅さんにはサポート頂きましたことに、心より感謝申し上げます。一年間、ありがとうございました。

８，親睦活動委員会　大野　健男　委員長

皆さま、一年間ありがとうございました。親睦活動委員会委員長として、無事に任期を終えることができますことを大変うれしく思っております。１１月の吉池旅館への親睦旅行、１２月の年忘れ家族例会という大きな行事を無事に開催できましたのも、会員の皆さまのご理解とご協力のおかげです。心より感謝申し上げます。また、毎週の例会では親睦委員会のメンバーの皆さまに準備や設営で支えていただきました。さらに、三役の皆さま、ＳＡＡ・副ＳＡＡの皆さまには常に温かいご支援をいただきました。そして三宅さんには、さまざまな場面でお力添えをいただき、心より感謝しております。多くの方々に支えていただいた一年でした。本当にありがとうございました。

９，プログラム委員会　田中　由紀子　委員長

本年度の例会における卓話プログラムにつきましては、山下会長の強いリーダーシップのもと、新年度の開始時点で概ね７０％程度は卓話が決まっており滞りなく企画を立案･決定することができました｡加えて、三宅さんやデジタル委員会の皆さまのご協力もあり、毎回の運営を円滑に進めることができましたことを、心より感謝申し上げます。卓話の内容におきましても、会長、副会長、幹事の皆さま、そしてプログラム委

員会メンバーとの連携を密に取りながら、会員の皆さまにご興味を持っていただけるよう工夫を重ねて参りました。今年度の卓話は音楽、歴史、文化、経済、スポーツなど幅広く様々なジャンルの卓話者をお招きすることができました。これにより、例会に参加された皆さまには、知識とパワーを得ていただけたものと感じております。改めて、運営にご協力いただきましたすべての皆さまに感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

１０，広報・公共イメージ委員会　松本　明弘　委員長

主にホームページの充実、内容が見やすい、興味深い分かりやすいをテーマに幹事であられる物井さんと相談をしながら活動をしてまいりました。また、ＳＮＳ関係では、堀川さんに力を借りてユーチューブ、インスタ、フェイスブック等の活動をして参りました。おかげさまで無事一年間活動出来ましたのは、皆様のご協力があってのものでした。ＪCOM吉田さんには８か月間メディア関係で活動していただきました事をご報告させていただきます。一年間ありがとうございました。

１１，デジタルＩＴ委員会　木村　一郎　委員長

年度毎に委員長変わるのですが、私、この委員長を務めさせていただいて今回３年目でございます。非常に長きにわたってデジタル委員会委員長をやらせていただきました。この３年間の中でという話になってしまいますが、３年前、引き継いだ時には、設営が非常に乱雑複雑で機器も多く、いわゆる配信トラブルが非常に多くありました。先週はうまくいった。だけど今週はダメだったというようなことが理由もわからず、そこから回を重ねというか、トラブルの少ない方法はという風になっていくと、やはり機材をどんどん減らす方法でいこうということで、理事会の方にも相談して、やり方をすごくシンプルにしようと。やはり親睦委員の方にいろいろお手伝いしてもらいながらの設営というのがあって、現状のやり方をやっていくと、もう少し設営時間が短く、割と簡単に誰でもできるようになるので、次年度以降、専門分野の会員の力も借りながら頑張って頂きたいと思います。ありがとうございました。

１２，ラーニング委員会　八巻　敏博　委員長

２回の担当例会ラーニングセミナーのうち、１２月５日に地区財団・ポリオ推進委員会委員 髙橋隆一会員から「チトワンＲＣとのプロジェクトへの財団補助金の関わりについて」の題でお話しいただき、会員の皆様にロータリー財団の理解を深めていただきました。３月２７日に「地区委員会活動を知るーガバナー輩出を控えて」として杉浦浩子会員(インターアクト委員会)・小保内洋子会員(米山奨学委員会)・椿和香会員(会員増強維持委員会)の地区委員３名から地区委員会での経験や学びをお話しいただき、地区・地区委員会への理解を深めていただきました。新会員セミナーについては、当初の計画日に出席予定者が少なく、また、種々の理由により延期いたしました。更に、次に計画した日程は、第１グループの新会員セミナーと被ってしまったので、今年度は、残念ながら開催できませんでした。

１３，職業分類委員会　瀬戸　映男　委員長

職業分類委員会では、職業分類の役割を十分考慮し、時代に沿った事業及び専門職の適正な分類を行ってまいりました。横須賀ロータリークラブに相応しい方の入会促進に努めました。１年間ありがとうございました。

１４，会員選考委員会　越川　昌光　委員長

会員として推薦された方については、履歴書等により慎重に審査し速やかに理事会へ報告しました。又、人格、資質を備え、健全な経営者であり、例会に率先して出席できるという点に留意して協調性のある明るい人を選考しました。

１５、会員増強・会員維持委員会　角井　駿輔　委員長

当クラブにおける今年度開始時・７月１日時点での会員数は１１１名だったところ、今年度中の入会者は６名、退会者は７名ですので、現在の会員数は１１０名となっております。この点、鈴木副会長が推薦していらっしゃる山下和志様が入会されると、今年度の実績としては増減なしとなる予定です。今年度の当クラ

ブにおけるクラブ・セントラルの会員増強目標は、会員数１１５名でした。昨年度の会員増強セミナーに参加したころはもう少し希望に燃えており、目標設定としても意欲的な数値にしたのですが、未達になってしまったことにつきましては申し訳なく思っております。他方で、会員維持の観点からは、親睦活動委員会の集まりに積極的にお声掛けいただき、新会員の皆様とも親しくお話しする機会に恵まれました。お気遣いいただきました大野親睦活動委員長、梶木副委員長にはこの場をお借りして御礼申し上げます。次年度は、このごろレースでも大活躍されている木村一郎会員が会員増強委員長を務めます。当職とは違った角度から積極的な会員増強に取り組んでいただけることと期待していると同時に、当職自身は、今年度お声掛けしたもののご入会には至らなかった候補者の方々に引き続き声をかけ続けることで、微力ながら会員増強委員長経験者としての責務を果たしていきたいと考えております。会員の皆様には一年間大変お世話になりました。ありがとうございました。

１６、職業奉仕委員会　曽我　宗光　委員長

職業奉仕活動の一環として毎年恒例となっております「職場体験学習」を本年度も実施させていただきました。本番の「職場体験学習」は今年１月に行いましたが、その実施に先立ち、プレイベントとして昨年１２月、横須賀学院の中学３年生１２６名の生徒さんを対象に「ガイダンス」を実施し、こちらの講師には野村證券の梶木支店長にお願いをいたしまして、「社会に出てからの大切なこと」などをテーマに大変貴重なお話をしていただきました。そして本番の「職業体験学習」では、２日間にわたり小グループに分かれた横須賀学院の生徒さんには各企業にて各職業の現場を身近に体験していただきました。以上、ご報告となりますが最後に各協力企業、会員の皆さま、そして梶木支店長にはお忙しいところご協力いただき誠にありがとうございました。次年度も実施を予定していると思いますので引き続きどうぞ宜しくお願いいたします。

１７，社会奉仕委員会　齋藤　秀人　委員長

社会奉仕委員会は、ロータリーと社会とをつなぐ大切な活動と認識し、この１年間活動を行ってまいりました。これもひとえに副会長をはじめ、委員会メンバー、親睦委員会等数多くの方々のお力添えがあったからと認識しております。誠にありがとうございました。主だった行事として、エンドポリオ募金活動、毎月の障害者施設の制作物の即売会、１万メートルプロムナードクリーン作戦などです。即売会につきましてはご購入によりサポートくださった多くのロータリアンの皆様方に感謝申し上げます。横須賀市障害関係施設協議会からも大変に深い感謝の言葉をいただいております。このような活動を通じて社会奉仕が実現できていることに大きな意義を感じます。次年度も引き続きよろしくお願いいたしします。ありがとうございました。

１８，国際奉仕委員会　加藤　淳　委員長

今年度は新たな国際奉仕のテーマ「ネパール_チャムガ・カスワ村の安全な飲料水の給水プロジェクト」の本格的な着手年度であり、８月には正式にグローバル補助金を受給し工事着工、そして１１月にはチトワンロータリークラブ会員４名の訪日に併せ、「総勢４５名の様々な諸団体の方をお招きしての訪日祝賀会」、「横須賀市長への表敬訪問」、「チトワンロータリークラブとの絆を深める MOU 覚書締結調印式」、最後は「海上イケス釣り堀大会」と５日間のおもてなし対応は中身の濃いものでありました。そして、今年３月には当クラブ会員７名が「工事完了に併せ現地に出向いての完了確認」を行うとともに「工事完了式典」にも参加し、その模様は５月に会員の皆様へ報告会を開催致しました。現在はグローバル財団へ本事業の最終報告書も申請しているところであります。最後に改めまして、この取組みもひとえに３役をはじめ、理事役員、建設業の会員ならびに国際奉仕委員、そして会員の皆様のお力添えがあったからと認識しております。本当に感謝申し上げます。次年度は次のステージとして、３月に会員の皆様にご協力頂いた「チトワンロータリークラブからの支援に関するアンケート結果」も参考にしつつ、国際奉仕委員会だけでなく他の委員会とも連携し、新たな支援テーマを考え、チトワンロータリークラブとの絆も深めつつ、実りある国際奉仕活動に繋げていく所存であります。どうぞ会員の皆様、これからもご理解・ご協力の程よろしくお願い致します。一年間、本当にありがとうございました。

１９，ローターアクト委員会　権田　理司　委員長

皆さん、こんにちは横須賀ローターアクトクラブは今年度９名の会員でスタートし、年度末では１３名まで会員を増やして活動させていただきました。月２回ほどの例会に加えて、エンドポリオやジャズフェスティバルでの募金活動、当クラブ他クラブ、またインターアクトクラブとの合同例会、１万メートルプロムナードのクリーン作戦などにも参加し、またＲＹＬＡや地区大会などに精力的に参加し、力強く活動をしておりました。その中でも、本年度、横須賀ローターアクトクラブ創立５０周年記念式典を無事に開催することができたことは、彼らにとって貴重な経験になったものと考えます。同式典を経て、彼らは多くの先輩方とつながることができましたので、今後の活動に活かされていくものと考えます。特に同式典ですけれども、横須賀ＲＣ会員の皆様にも多大なご協力をいただきました。改めて御礼を申し上げます。ありがとうございました。

２０，インターアクト委員会　小山　陽生　委員長

今回は年間を総じてとなりますが､委員長３回目にして初めて三送会(インターアクトの３年生を送る会)に出席できました。また２月に副委員長の杉浦さん、アクト委員長の権田さんと三浦学苑生徒会の委員会に出席させて頂きました。その際にも担当別の報告等をお聞きし、level の高さに圧倒されました。顧問教諭の荒川先生とも懇親を深め、協力体制もしっかり出来たと自負しています。ただし、インターアクターとの距離は年齢のせいもあり、打ち解けていない現状があり、反省をしています。三浦学苑ＩＡＣは３年生が卒業後、新１年生が新しく入会をして現在３０名のインターアクターが、しっかりと次のイベントに対して準備を整えています。これからも２７８０地区で先頭に立ち、引っ張って行ってくれると確信しています。

２１、ロータリー財団委員会　長尾　和典　委員長

⑴ロータリー財団年度寄付について：本年度、会費納入時の定期的なご寄付を１１０名中１０１名の方々からいただきました。また、任意の時期に任意のご寄付を数名の方々からいただきました。その結果32, 973ドル集まりました。これで１人当たり（$32, 973÷110人＝)299. 70ドルとなり、目標の１人当たり200ドルを約９９ドル上回りました。⑵ポリオ寄付について：当クラブでは本年度時点でポリオプラス参加者(毎年１００ドルをポリオ基金に寄付する方々)が１４名いらっしゃいます。これらの方々からのご寄付に加えて、他からのご寄付をいれまして、合計4, 764ドル集まりました。この結果、１人あたり（$4, 764 ÷110人＝） 43. 30ドルとなり、目標の１人当たり４０ドルを約３ドル上回りました。⑶恒久基金(ロータリー財団の恒久基金に1, 000ドルのご寄付をされた方, ベネファクター)について：当クラブでは本年度２名いらっしゃいました。目標の１名以上を上回りました。⑷ メジャードナー(累積で10, 000ドル以上をロータリー財団に寄付された方々)について：当クラブでは本年度７名となりました。⑸ポールハリスソサイアティ(毎年1, 000ドル以上をロータリー財団に寄付する事を宣言されている方々)について：当クラブでは本年度５名(このうち３名は既にメジャードナーの方々です。)となりました。数年以内にこれら５名のうちの２名が新たにメジャードナーになられると予測しております。

２２，米山奨学委員会　齋藤　眞且　委員長

奨学生は月１回の世話クラブへの例会出席やホストクラブの行事への参加、奉仕活動、地区大会、米山月間、国際交流会等の参加を通じてロータリークラブ会員との交流を深め信頼関係や親睦を深めております。当クラブの米山奨学委員会では地区の米山奨学委員会開催の奨学生歓迎会､カウンセラー研修会､セミナー、地区大会お茶サービス、国際交流会、終了式などの参加を通じて地区との連携を密にし、奨学生が安心して学べる環境を作っていきたいと思います。会員の皆様には米山奨学事業の目的をご理解いただき、今年度もお一人２万円以上のご寄付をよろしくお願い申し上げます。

２３，危機管理委員会　北村　理和子　委員長

今年度、活動方針に掲げました、国際ロータリーの「青少年と接する際の行動規範に関する声明」に基づき、青少年奉仕委員会が中心となりインターアクト委員会と連携し、この方針を諸活動に照合しながら行動規範として取組まれている事と存じます。今年度も、各委員会の協力によりまして、行動規範に抵触するような事柄は無く、諸活動が展開されました事、誠にご苦労様でした。

２４，3-year Rolling Target/Plan 委員会　髙橋　隆一　委員長

本年度より新設された 3-year Rolling Target/Plan はトライアル期間の二年目にあたりました。当クラブとしては、三年間の目標として、会員増強と国際奉仕を委員会のメインプログラムとして考えております。

会員増強は、単年度での勧誘・入会は現在の社会情勢を考慮すると難しいものがあります。多年度に渡り勧誘を続けることが会員拡大増強に繋がります。会員皆様のご協力をお願いいたします。また国際奉仕は、昨年よりグローバル補助金を使ったネパールへの水道事業が始まり山下会長陣頭指揮のもとチトワンロータリークラブと事業が無事に終了しました。更に渡邉次年度に向け現地の需要を調査し新しい補助金事業を進めていく事となります。いずれも単年度では難しい事業なので、3-year Rolling Target/Plan として横須賀ロータリーの会員の皆様と共に立案遂行していきたいと考えております。

２５，鈴木　豊司　幹事

ネパールでの国際奉仕活動や、２０２７年度地区大会のホスト受託をはじめ、さまざまな案件に取り組むこととなり、今年度は例年にも増して内容の濃い一年であったと感じております。そのような中、会長をはじめ三役、ＳＡＡ・副ＳＡＡ、そして事務局の三宅さんとともに力を合わせ、クラブ運営を支えてまいりました。また、各委員長ならびに多くの委員の皆様のお力添えに支えられた一年であったと、心より感謝しております。一方で、突然のぎっくり腰や重度の花粉症に見舞われ、幹事という立場にありながら行事を欠席するなど、皆様にご迷惑をお掛けしましたことをお詫び申し上げます。この２年間はクラブ活動に注力するあまり、本業を少々おろそかにしてしまいました。少子化が進む昨今でもありますので、来月からは改めて本業にしっかりと向き合い、邁進してまいりたいと考えております。一年間、本当にありがとうございました。

＜閉会・点鐘＞　１３：３０　山　下　会長

週報担当　石　田　裕　樹